

# わくや

3月会議号  
2019.5.1  
No.197



## 涌谷南幼稚園 入園式

持続可能なまちづくり	〈31年度予算〉	2
議案審議あれこれ	〈3月会議〉	5
議員が徹底審査	〈予算審査特別委員会〉	6
町政を問う8人の提言	〈一般質問〉	9
輝くみなさんの声	〈キラキラVoice〉	20

# 大橋信夫町長ご逝去

謹んで

ご冥福をお祈り申し上げます

平成31年4月4日、大橋信夫町長が逝去されました。

大橋氏は、平成3年12月、町議会議員に初当選して以来、連続6期23年にわたり豊富な経験と卓越した見識を持って議会活動を牽引してこられました。

総務企業、産業建設の各常任委員に就任し、平成8年からは産業建設、平成10年からは教育民生の各常任委員会副委員長の要職に就任。各特別委員会においても活躍され、特に業者指名基準調査特別委員会並びに涌谷町議会議員定数調査特別委員会では副委員長を、行財政改革及び議員定数等調査特別委員会並びに産業廃棄物中間処理施設に関する調査特別委員会では小委員会委員長を務

められ、議会の活性化、農業の再興等に尽力されました。

また、議会推薦の農業委員や監査委員としても活躍されました。

平成16年1月には副議長に就任、さらに、平成20年1月には議長に就任し、議会の円滑な運営、活性化に努められた功績は多大なものであり、現在の議会活動の大きな指針となっています。

平成27年には、町長選挙に立候補し当選、町長としてもその手腕を発揮され、涌谷町の自治発展と住民福祉の向上に尽力されました。

ご逝去に際し、数々のご功績に心から尊敬と感謝を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

涌谷町議会議員一同

## 平成31年度 注 目 事 業

### 涌谷第一小学校区学童クラブ新築事業 1億7632万円

厚労省による新・放課後総合プランに基づき、放課後学童クラブの対象を小学6年生まで拡大するため、涌谷第一小学校区学童クラブを新築し定員増を図る。



※議会だよりわくやに掲載している事業費については、万円未満を切り捨てて掲載しています。

# 平成31年度 施政方針

## 一般会計の主な事業

### 1 子どもの成長支えるまちづくり

#### 子ども医療費助成事業（子育て支援室）

550万円（継続）

→町内の全ての18歳以下の子どもについて医療費を助成。子どもを産み育てやすい環境づくりや子育て支援をさらに充実させる。

#### わくや地域子育て応援団事業（子育て支援室）

192万円（継続）

→子育てと仕事の両立、子育ての負担と不安の軽減を図る。特に困窮世帯においては、子育て支援により、安心して子育てできる環境を整えていく。

（内容）1. 支援に向けた講習会の実施  
2. 送迎、子どもの預かりなどの育児支援  
3. 困窮世帯などへの利用料金助成 など

### 2 健康長寿に向けたまちづくり

#### 予防接種事業（健康課）

3275万円（継続）

→ワクチンで予防できる感染症の発症や重症化を抑えるため、予防接種法に基づいた各種予防接種を実施する。平成31年度からは、風疹に対する追加的対策を実施する。また、町独自で「ロタウィルスワクチン予防接種」「おたふくかぜ予防接種」「任意インフルエンザ予防接種」などの助成事業を継続して実施する。

### 3 交流が豊かさを育むまちづくり

#### 空き家対策総合支援事業（まちづくり推進課）

2050万円（継続）

→空き家を活用し観光拠点・宿泊施設を整備運営する民間団体に対して、事業費の3分の1を国及び3分の1を町から補助を行うもの。併せて、公共施設1件を解体するもの。

### 4 安全で快適な環境のまちづくり

#### 道路新設改良事業（建設課）

1億2900万円（継続）

→道路の走行性、安全性を確保するため、交付金事業を活用し道路施設の点検を行うとともに、舗装の打ち替えなどを実施する。

### 5 協働による自立したまちづくり

#### 元気わくや創生補助事業（まちづくり推進課）

40万円（継続）

→地域コミュニティ関係団体が行う地域の特性や資源を生かした継続性のある活動を支援するために、関係団体が行う事業を公募し補助を行い、協働のまちづくりを推進する。

4年間以上の事業継続を対象とし、活動団体への補助を行う。

## 特別会計・企業会計の主な事業

### 国民健康保険事業勘定特別会計

#### 特定健康診査事業（健康課）

2558万円（継続）

→特定健診受診率向上を目指し、受健者に対してのインセンティブ事業を実施する。また、糖尿病性腎症等重症化疾患を防ぐため、生活習慣病の早期改善・治療への働きかけを行う。さらに若年世代からの生活習慣改善を推進するため20代30代の健康診査を継続実施する。

### 水道事業会計

#### 老朽管等更新事業（上下水道課）

6575万円（継続）

→水道の安定的な供給のため、老朽管及び設備等の更新を行う。

・管更新（桜町裏地内、岸ヶ森東地内、桑畑地内など）  
・舗装復旧（岸ヶ森西地内、桑畑地内、中野一地内外）  
・第3配水池送水ポンプ交換 一式  
・花勝山配水池ネットフェンス改修撤去・設置 一式

## 町民医療福祉センター 平成31年度重点施策



町民医療福祉センター基本方針を述べる大友センター長

- 1 第2次わくや健康ステップ21計画の推進
- 2 母子保健の推進
- 3 障害者地域生活支援拠点事業の推進
- 4 包括的支援体制の構築
- 5 地域支援事業の推進
- 6 子育て支援事業の推進
- 7 病院の経営健全化と職員の意識改革
- 8 在宅復帰・在宅療養支援機能の強化
- 9 利用者の生活に寄り添う、丁寧で暖かいケアを提供

平成31年度  
予算

# 持続可能なまちへ 立て直しを

— 財政非常事態宣言を発令し、行財政改革を推進する —

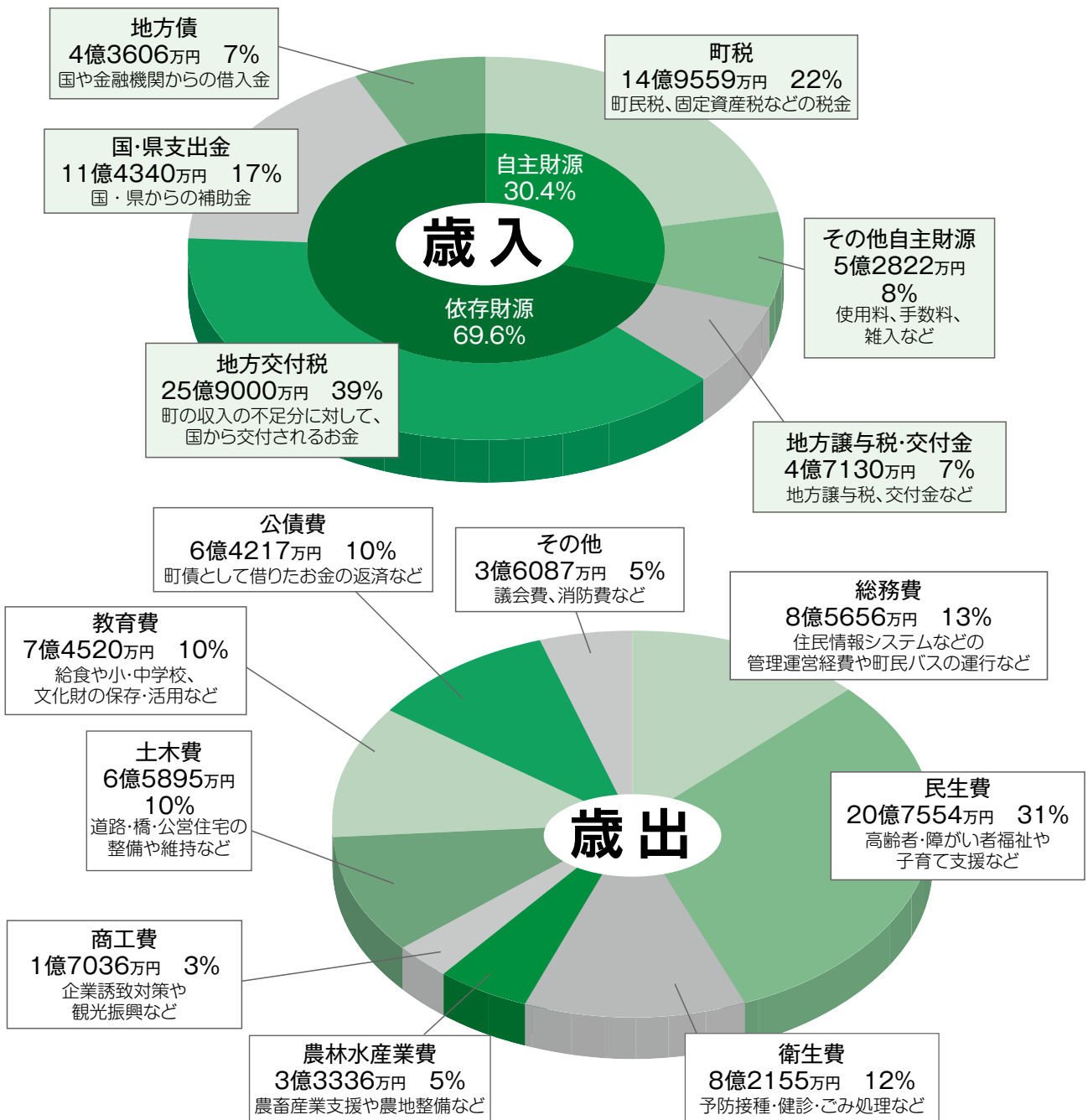
31  
年度  
予算

一般会計

66億6459万円

歳入

町税	14億9559万円
地方交付税	25億9000万円
財政調整期金取り崩し	9000万円



※財政調整基金…会計年度間における財源の不均衡を調整し、健全な財政運営を行う積立金。  
 ※構成比については、端数処理の関係上、数字が合わないことがあります。

# 3月会議 議案 審議

3月会議は、3月7日から15日までの9日間の会期で開催されました。本会議では、人事案件4件、条例改正など議案10件、議員発議2件、平成30年度補正予算6件、平成31年度予算9件の審議を行い、全て原案どおり可決しました。

一般質問では8人の議員が12項目の質問を行い、財政非常事態宣言を発令するに至った経緯や、今後のまちづくりの方向性をいただきました。

原案可決			
人事案件	議案	議員発議	補正予算
4件	10件	2件	6件
原案可決			
平成31年度予算	一般質問		
9件	8人・12項目		

## 議案審議

### 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

1月から50%減額している町長給与について、4月からは更に10%を加算し60%の減額に、また、教育長及びセンター長の給与については、それぞれ10%減額するもの。

### 12月会議

公金紛失事件の責任を取り、  
町長 → 給与50%減額 (1月～8月まで)  
副町長 → 辞任 (12月末)

### 3月会議

行財政改革の一端として、  
町長・教育長・センター長  
→ 給与10%減額 (4月～8月まで、町長は合計60%の減額)

### 財政非常事態宣言

情報公開・個人情報保護  
審査会委員に同意

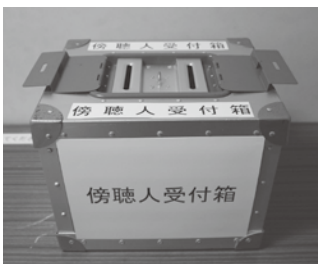
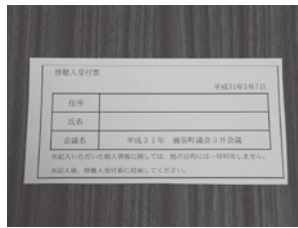
大友 信一氏  
笠嶋 正男氏  
久道 好子氏  
戸澤 準一氏

### 議員発議

### 涌谷町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

財政非常事態宣言を発令した町の財政状況を勘案し、議会としても議員報酬の5%削減を行い財政改革を進め、行財政の健全化に努める。  
(4月～12月まで)

### 涌谷町議会傍聴規則の一部を改正する規則



傍聴の際は、傍聴人受付票に住所氏名を記入し、傍聴人受付箱に投函をお願いいたします

### 30年度補正予算審議

### 地域振興公社運転資金貸付金返還金について

30年6月会議において、公社に貸し付けしている運転資金2700万円について、年540万円返済し、5年間(34年度まで)で完済する旨の協議が整ったが、公社の経営状況から、今年度の返済はできないと判断し、後年度へ繰り延べするとされたが、議員からは疑問の声が相次いだ。

### 主な質疑

#### 契約不履行ではないか

**問** 年540万円返済することを約定にしたのであり、それを繰り越すことは契約不履行に値するのではないか。

**答** 公社の今年度の経営が赤字になる見込みであり、更に540万円を支払うのは難しいという申し入れがあった。今後は一層の経営努力を求めていく。

### 支払期間も1年延長か

**問** 公社の指定管理は5年間であるが、今回繰り延べを行うことで、6年間で支払いをすることになるのか。

**答** 指定管理期間は34年度までであり、その中で返済してもらおう。

### 法人としての責任は

**問** 法人化されたものであり、契約が履行できない場合は自分たちで責任を負うべきであると考えるが。

**答** 公社は法人格の組織であり、会社と同じである。経営に行き詰まれば、身を削るといふ考え方もある。

### 3月会議採決状況

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらない

件名	竹中	佐々木(敏)	佐々木(み)	稲葉	大友	只野	後藤	久	杉浦	門田	大泉	鈴木	遠藤
平成30年度涌谷町一般会計補正予算(第7号)	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	議長

# 予算審査特別委員会

平成 31 年度予算の審議に当たっては、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。各事業の今後のあり方、予算の適切な執行について議論を交わし、全ての会計について賛成全員で原案どおり可決しました。主な質疑と答弁をお知らせします。



予算審査特別委員会 久 勉 委員長

## 一般会計

### 歳入

竹中 弘光 委員

**公共施設使用料  
受益者負担の見直しを**

**問** 公民館、涌谷スタジアム、体育館などの使用料について、受益者負担の増額をすべきでは。

**答** 近隣市町村の住民の負担状況を勘案し、使用料の減免などの検討をしていく。

**問** 近隣市町村の住民の負担状況を勘案し、使用料の減免などの検討をしていく。

佐々木敏雄 委員

**黄金山工業団地  
売る意思はあるのか**

**問** 黄金山工業団地の売り払い収入が予算に計上されていない。町長の公約でもあり、売る意思として予算計上すべきではないか。

**答** 歳入を確実に見込めるもののみを計上した。誘致に向け努力していることには変わりはない。

稲葉 定 委員

**振興公社貸付金  
確実に返済を**

**問** 地域振興公社への貸付金について、返済繰り延べは認められないので確実に履行させる方策を考えているか。

**答** 考えるのは事業実施者であるが、経営努力をお願いしていく。

### 歳出

企画財政課

大泉 治 委員

**葬祭場建設について  
町の姿勢明らかに**

**問** 大崎地域広域行政事務組合で新設される葬祭場の位置について、涌谷町にとっては利便性に大きく欠ける場所が候補地になっている。町には涌谷葬祭場があり、現段階から、この事業に關してのみの離脱も含め、広域に対して姿勢を明らかにしておく必要があるのでは。

**答** 涌谷葬祭場は、広域的に使用されていることから利用価値が高い。まだ使用に耐え得る施設であることから、今後も残してもらおうつもりであり、そのことはしっかりと伝えたい。

竹中 弘光 委員

**町民バス  
運行改善で利便性向上を**

**問** 下町地区や八雲地区を回れないか、町民バスの運行経路の見直しは行ったのか。

**答** 様々な検討を行ったが今の台数の運行だと現行どおりになる。今後より良い方向になるよう検討していく。



### 福祉課

佐々木みさ子 委員

**紙おむつ支給  
対象者の拡大を**

**問** 紙おむつ支給事業は、高齢化が進む中、わずかな人数への支援しかできない予算である。もう少し対象拡大を考えていくべきではないか。

**答** 対象者は非課税世帯と在宅で介護を行っている世帯に限定している。全体の予算の中での位置づけを十分に議論していく。

後藤 洋一 委員

**老人クラブ活動  
町は支援を**

**問** 老人クラブのあり方は。町としての支援の考えは。

**答** 活動に参加することが生きがいや体力づくり・健康づくりになっている。職員が協力できる部分もあると思うので、積極的に携わってもらおう。

総務課

只野 順 委員

**町長交際費  
使途を明確にして公開を**

**問** 町長交際費が300万円から250万円に減額になったが、根拠は。

使途は公開すべきであると考えるが。

**答** これまでの実績などを踏まえ減額とした。公開するよう準備を進めていく。

大友 啓一 委員

防災無線難聴地域

新たな対策とは

**問** メール配信システムとはどのようなものか。

**答** 一旦、町に個人メールアドレスを登録していただければ、災害や行政についての情報をメールで届けることができるシステムである。難聴地域を解消する一つの手だてになると考えている。

農林振興課

佐々木 みさ子 委員

**世界農業遺産  
町のPRに生かして**

**問** 大崎地域世界農業遺産推進協議会負担金の負担割合は。涌谷町のPRができるプランの考えは。

負担額は色麻、加美、美里、涌谷の4町がそれぞれ240万円、大崎市が920万円。

世界農業遺産の認証を涌谷町産の農産物に添付できるようにしたい。

鈴木 英雅 委員

農業遺産認定

早くアクションを

**問** 世界農業遺産の認定を受けているが、動きが見えない。今後の活動はどのように考えているか。

**答** ログマークなどは、各関係機関から申請していただき、認められることが必要である。新年度にむけてJ.Aみどりと協議していく。

企業立地推進室

大友 啓一 委員

**黄金山工業団地  
分割販売できないか**

**問** 工業団地大区画3・5ヘクタールを一括して売るのは難しい。分割すれば、さまざまな企業が進出しやすくなるのではないか。

**答** 分割での販売も検討したが、構内道路や排水をつくる必要があり、約1割ほど販売面積が減ってしまう。分割は可として、企業の具体的な提案に对应されるよう対応していく。

稲葉 定 委員

生涯学習課

稲葉 定 委員

**佐々木家住宅は  
有効に活用を**

**問** 佐々木家住宅の管理費は毎年発生する。それに見合った活用方法を課を越えて検討し、早急に示してもらいたい。

**答** 現在、東北工業大学の古民家建築の専門家の先生に、活用の計画策定を依頼している。

教育総務課

門田 善則 委員

**スマホの取り扱い  
先に注意喚起を**

**問** いじめが原因で子どもが自殺する報道が相次いでいるが、スマートフォンなどの取り扱いについて、先に注意喚起する対応が必要ではないか。

**答** 県教育委員会、遠田警察署などと連携し、スマートフォンなどの取り扱いに関する講習会を開催し、対応に当たっている。できるだけ早く、先手先手で対応していく。

鈴木 英雅 委員

**教職員の疲労軽減を**

**問** 小中学校の教職員がいろいろな意味で疲れている。教職員の疲労を減らす改善策、施策を考えてもらいたい。

**答** 新年度に向けて、今後の部活動のあり方を検討している。文科省が社会体育へ移行する動きを示しており、町としても検討を行っている。

佐々木 敏雄 委員

**教育施設等長寿命化計画  
内容は**

**問** 計画の策定に当たって、国からの補助はあるのか。

**答** 国、県の補助はない。長寿命化計画を立てることで、どの時期にどれぐらいの費用がかかるのかがわかり、建て替えるが必要な時期なども見えてくる。

予算審査

国民健康保険  
事業勘定特別会計

杉浦 謙一 委員

国保会計の  
適切な運営を

問 30年度から県単位  
化となったが、保  
険料の値上げは町民の大  
きな負担となる。税率を  
据え置くためにも、適切  
な制度運営に留意しても  
らいたい。

答 制度の構造的な部  
分については国・  
県に要望、相談しながら、  
健全な国民健康保険制度  
の運営ができるよう努め  
ていく。

水道事業会計

門田 善則 委員

町民に負担をかけない  
事業経営を

問 人口が減少し給水  
量も減る中で、今  
後の水道事業の経営は、  
町民に負担をかけないよ  
う留意してもらいたい。

答 町民に負担をかけない  
事業経営を  
人口が減少し給水  
量も減る中で、今  
後の水道事業の経営は、  
町民に負担をかけないよ  
う留意してもらいたい。

答

県の方針は、事業  
を広域化し、ス  
ケールメリットを生かす  
考えである。涌谷町の水  
道事業はあまり大きい区  
域ではないため、この中  
で経営を安定させるのは  
厳しい。ほかの自治体と  
併せて、経費の節減に取  
り組むことができないか  
検討中である。経営努力  
を行った上で、料金の見  
直しをかけた。

国民健康保険  
病院事業会計

後藤 洋一 委員

地域包括ケア病床  
増やしては

問

地域包括ケア病床  
について、病院の  
経営のあり方を検討した  
中で、改革していく必要  
があると考えている。

答

回復期病棟を増や  
す方向で考えてい  
るが、建物の規格が合わ  
ず、病床数が減ってしま  
うので、経営面と併せて  
早急に検討していく。

遠藤 釈雄 委員

病院経営の厳しさ  
職員は認識を

問

病院事業の予定  
キヤッシュフロー  
計算書を見ると、業務活  
動、投資活動、財務活動  
によるキャッシュフロー  
のいずれも現金の流れの  
悪さを示している。町か  
ら繰り出される2億43  
00万円を医業収入に上  
乗せしても資金繰りが大  
きく心配される。

町民の命と安心を担う  
病院に関わっている全ス  
タッフの方々は、この状  
況をどのように受け止め  
どのような改善を考えて  
いるのか。

答

医師の意識改革が  
大切であると考え、  
既に何人かの医師と話を  
している。  
経営健全化検討委員会  
で検討した改善策にでき  
るだけ早く取り組み、達  
成できるように頑張っ  
ていく。

只野 順 議員

平成31年度予算 賛成討論

稲葉 定 議員

財政非常事態宣言を発令し、町民の皆さんに  
多大な心配と不安を与えた中、財政調整基金の  
9000万円を取り崩しての予算編成となった。

民間の皆さんにより、空き家を活用した観光拠  
点、宿泊施設が整備運営される。地域おこし協力  
隊員が、これまで地域資源の発掘・開発を進めて  
きたことの具体化も含め、観光振興の中心になる  
ことの期待も大きい。学童クラブの新築事業は、  
新たな教育環境での子育て支援となる。今年10  
月以降の消費税増税で地域経済が冷え込むことが  
予想される中での財政運営である。一般会計から  
の下水道事業や病院事業への繰り出しなど、課題  
は明確になりつつある。

行財政改革を職員がしっかりと意識しながらの  
予算執行になる。胸を張って仕事をする一年とな  
るよう、今年度予算に賛成する。

機械的に1割カットの事業が多く見られ、時間  
的な余裕がない中での各課の歳出削減は、数字あ  
わせの部分が多々あったように思う。財政非常事  
態宣言の発令により緊縮財政となったが、見せか  
けだけの当初予算とせず、これまでの事業の見直  
しを含め、意識を根本から改めて執行に当たっ  
ていただきたい。

地域振興公社貸付金返還の件も、決して聖域に  
してはいけない。約束を守ることは当たり前のこ  
とである。ゼロベースからの見直しをしなければ、  
1万6千人の町民は納得できるはずがない。町民  
の血税が使われているのだということを、まず最  
初に考えてもらいたい。

聖域のない、必要な部分のみの執行となること  
を望み、賛成する。



# ズバリ

3月会議では、3月7日、8日に一般質問が行われ、8人の議員が町政全般について質問をしました。

質問と答弁は、質問した議員が600字以内で要約し、広報分科会委員が調製したものです。

町のホームページでは、動画の録画配信を行っていますので、そちらもぜひご覧ください。

涌谷町ホームページ URL  
(<http://www.town.wakuya.miyagi.jp>)  
一般質問動画配信ページ QRコード



## 一般質問

### 後藤 洋一 議員 (10 ページ)

- 1 出来川下流堤防の工事と安全性について問う

### 佐々木 敏雄 議員 (11 ページ)

- 1 財政非常事態宣言について
- 2 涌谷高等学校100周年記念事業の町の対応について

### 門田 善則 議員 (12 ページ)

- 1 ふるさと納税で歳入確保を

### 久 勉 議員 (13 ページ)

- 1 財政非常事態宣言の真意を問う

### 只野 順 議員 (14 ページ)

- 1 施政方針について
- 2 病院事業部門について
- 3 消費税10%による町に与える影響は

### 竹中 弘光 議員 (15 ページ)

- 1 子育て支援対策は充分か

### 杉浦 謙一 議員 (16 ページ)

- 1 国民健康保険の運営についての考えは
- 2 今後の財政状況のあり方は

### 佐々木 みさ子 議員 (17 ページ)

- 1 第五次涌谷町総合計画について

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについての考えを問う、報告や説明を求め、よりよい方向へ導くものです。

# 町政をただす



後藤洋一 議員



問

## 出来川下流堤防工事 今後の見通しは

答

### 事業促進の要望と、 必要な協力を行っていく

**問** 近年の異常気象がもたらした大雨などにより、各地で河川の氾濫が問題になっている。江合川下流右岸堤防の越水から3年6カ月が経過したが、出来川下流堤防工事の進捗状況と、今後の計画の見通しについてはどのように考えているのか。

**町長** 一級河川出来川は、宮城県が管理している河川である。県当局の説明では、現在、明治水門から上出来川橋までの約6・3キロメートルまでの区間で築堤工事を進めており、今後も継続していく、とのことである。  
町としても引き続き事業促進の要望と、必要な協力をしていく考えである。

**問** 下流には多数の住宅が建っていることから、災害に対する安全性の確保が急務と考えるが。

**町長** 住民生活上の安全性をいかに確保していくか、河川改修の促進を図るとともに、地域の方々のご理解とご協力をいただきながら、防災上の安全対策も併せて検討していきたいと考えている。

**問** 下流域は土砂や流木の被害が発生しやすい状況になっていることから、災害に備えた河川の整備に取り組むべきと考えるが。

**町長** 今後、河川管理者である宮城県北部土木事務所と、涌谷町消防団並びに町の建設防災担当と連携し、現地での安全確認や危険箇所の情報共有を図り、安全性の確保に取り組んでいきたい。



毎年のように各地で発生する洪水、冠水被害  
河川の氾濫を防ぐためにも、築堤工事の推進と、防災対策が急務

**問** 涌高創立100周年  
通学路の整備を

**答** 状況を見て改善を考えていく

**問** 涌谷高等学校創立100周年記念事業への町の対応は。

**町長** 町から記念事業に対する助成金の支援は行わない予定である。

ソフト面での支援を高校と協議しながら検討していきたい。

**問** 涌高の生徒会から、通学路の整備や、街灯が少なく暗いと言われている。

**町長** 状況を見て改善を考えていきたい。



通学路の整備を！

**問** 早期健全化基準を下回っている財政状況であるのに、なぜ宣言を出したのか。動機と目的は。

**町長** 平成24年度から財政調整基金を取り崩して財政運営を行っているが、このままでは基金が枯渇する恐れがあるので発令した。厳しい財政状況を早期に克服することを目指す。

**問** 国保病院に医師が来る予定が、宣言後断りがあつたと聞いた。結果的に町の不利益になる不名誉な宣言であつた。その責任はどうとるのか。

**町長** いろいろな機会を捉えながら、十分な説明をしていく。

**問** 財政健全化推進計画は9月としているが、町長の任期は8月30日までである。計画内容を示し、選挙で審判を仰ぐべきでは。

**町長** 計画策定中に実行に移すべきものは移していく。任期を全うして審判を仰ぎたい。

**問** 施設の統廃合をするとしているが、どの施設を考えているのか。

**町長** 各施設の現状を把握し、統廃合も検討していく。

**問** 財政非常事態宣言の終息は何か。

**町長** 基金を崩さずに財政運営ができる仕組みづくりが完了したところで、財政の健全化が図られたものと考えている。

**問** 基金を崩さずに何年も予算編成することはあり得ないと思う。財源の手だても考えて予算編成をすべきでは。

**町長** 基金は自然災害などに緊急に対応するために使いたい。歳入と歳出に見合った予算編成をしていく。

**問** 財政非常事態宣言の影響  
責任は

**答** 機会を捉え十分な説明をしていく



佐々木敏雄 議員



問

## ふるさと納税で歳入確保を



答

## インターネットサイトでの事業展開など増収に向け一層努力していく

門田善則 議員



問

財政健全化を図るために、職員・町長・議会が一致団結し、ふるさと納税で歳入を確保してはどうか。

町長

平成30年度は、返礼品を掲載したPR用のパンフレットをリニューアルし、町内の各施設へ設置して、観光客へ働きかけを行い、県内外の各種イベントにおいてもPRを行ってきた。

寄附者の多様化するニーズに応え、平成30年9月から寄附金の納付方法に携帯電話の利用料金とまとめて支払いができるキャリア決済や、コンビニエンストア決済などを導入したところ、現在まで前年比でおよそ200万円の増収となっており、これらには一定の成果があったものと考えている。今後は、複数のインターネットサイトでの事業展開も検討しており、さらなる増収に向け一層努力していく。

問

ふるさと納税で歳入を確保するためには、返礼品を工夫して、より多くの方が浦谷町にふるさと納税をしていただけるように考えるべきではないか。

町長

平成30年度は浦谷町の農産物を利用していただいている仙台市のレストラン食事券や、町内の農家さんが丹精込めて生産した浦谷米、郵便局の見守りサービスなど、4事業者18品目の取り扱いを増やし、現在は宮城カントリークラブのゴルフプレー券など、体験型の返礼品の取り扱いも予定しているところである。

今後も、総務省が示すふるさと納税返礼品の条件である寄附額の3割以下であること及び地場産品であることの2点を遵守しながら、職員一丸となつてふるさと浦谷の魅力あふれる返礼品の開発に努めていきたい。



浦谷町のふるさと納税は、魅力あふれる返礼品がたくさんあります！  
ホームページなどからぜひ一度ご覧ください

# 健全な町の財政を取り戻すために 涌谷町財政非常事態宣言

2月15日発行の広報わくやからお知らせいたします。湧谷町は、平成31年10月1日付で「財政非常事態宣言」を発令しました。宣言の趣意は、町が「健全な町の財政を取り戻すために、非常事態宣言を発令した」ということです。宣言の趣意は、町が「健全な町の財政を取り戻すために、非常事態宣言を発令した」ということです。

町財政の現状、平成19年度決算から平成29年度決算までの経緯、平成31年度予算案の概要、町財政の将来展望について、町民の皆様へお知らせいたします。町財政の現状、平成19年度決算から平成29年度決算までの経緯、平成31年度予算案の概要、町財政の将来展望について、町民の皆様へお知らせいたします。

表3 《繰出金などの推移(平成31年1月30日現在)》 (単位:千円)

	平成19年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	H29/H19比
大塚地域広域行政事務組合	537,689	622,912	600,295	595,009	630,893	115%
下水道事業会計	314,085	237,359	262,368	302,745	375,769	119%
水道事業会計	121,160	264,196	494,887	472,824	473,684	396%
老健事業会計	8,010	5,260	7,021	6,876	8,208	102%
合	982,244	1,229,726	1,470,671	1,438,454	1,698,224	161%

表1 《歳入の状況(歳科)》 (単位:千円)

区分	年度	平成19年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	H29/H19比
町	税	1,542,533	1,466,217	1,471,797	1,515,076	1,523,274	99%
町	地方交付税	2,711,169	3,182,875	3,029,172	2,951,942	2,877,558	106%
合	計	6,119,530	8,460,867	8,080,370	8,192,716	7,940,971	130%

町民にわかりやすく、正確に情報が伝わるよう周知方法の検討を

## 一般質問

**問** なぜ非常事態宣言なのか。

**町長** 今後の財政状況を考えると、財政調整基金が枯渇する恐れがあり、改革が必要であると判断した。

**問** 当初予算の編成はどう行ったのか。

**町長** 内部管理経費や事業の見直しを行ったが、31年度も財政調整基金を取り崩しての当初予算編成となった。

**問** 広報わくやや3月号で、平成31年度から34年度までの財政調整基金積立額を毎年510万円としているが、平成19年度からの収支決算を見ると実質収支は黒字であり、財政調整基金へ積み立てができています。十分な財政分析がされていないのではないかと。

**企画財政課長** 現実なものだけを、預金利子として記載した。

**問** 社会保障費が大幅に増加とあるが、その原因や、国費負担割合が記載されていない。

**町長** 町の財政を立て直すことを政策課題としている。町民にわかりやすい広報を検討していく。

**問** 財政状況を町民にきちんと知らせることは大切なことである。複雑であるからこそ、町が町民にとって何を大事に考え、政策を進めているのかを、きちんとわかりやすく説明するべきである。

**企画財政課長** 説明に要する誌面構成の都合もあった。議会と協議しながらより良い方向に向かっていきたい。

## 当初予算はどのように編成したのか

経費や事業の見直しを行った上で、不足分は財政調整基金を取り崩した



久 勉 議員



問

## 事業の廃止・休止の判断は誰が行うのか



只野 順 議員



答

計画策定に当たり、  
最終判断は私が行う



問

「財政非常事態宣言を出した後の予算編成に当たり、どのような指示を出し、財源不足を補い実施したのか。」

町長

内部管理経費の見直しを指示したが、残念ながら平成31年度についても財政調整基金を取り崩しての編成になった。

問

「財政健全化推進計画等の策定、事業の再編整理を行い、施設の統廃合等の経費削減、受益者負担の適正化を行い、地域社会や町民の皆様に大きな痛みを伴う項目も実施していかなざるを得ない」としているが、具体的に廃止・休止の判断は誰が行うのか。」

町長

現状の分析を進め、健全化計画を策定するため、総務課内に担当部署を設置した。計画策定に当たり、最終判断は私が行う。

問

### 国保病院の今後の方向性は

答

町民が納得する結果を  
早急に示したい

問

病院事業部門で、平成28年度の予算編成時に、改革プラン実施を踏まえ事業収支の改善や経営の効率化により、事業収支黒字化を目標に努力していくとしたが、今、結果をどう受け止めているのか。  
今後の方向性を、できるだけ早く町民に示してもらいたい。

町長

国保病院の現状は本意ではなく残念である。検証と評価を行い、新改革プランの見直しが必要と考えている。病院内に検討委員会を立ち上げ、経営健全化に向け、方針・方策について検討し、大友センタ―長から全職員に向けて説明を行った。  
健康と福祉の丘運営委員会の委員の皆様からの意見をいただき、時間がない中で町民が納得する結果を見いだし、早急に示したい。



国保病院が、小児科のある病院となることを望む

**問** 結婚新生活支援及び移住促進住宅取得補助金について、規制をもう少し緩和できないか。

結婚したすべての夫婦に祝金を出してはどうか。

**町長** 国の補助事業を活用しているが、

国の補助要件に合致しないご夫婦についても、涌谷町では要件を緩和して対応している。

実家などへの同居世帯については、助成の対象とすることができるか今後検討する。

**問** 新生児補助金は適正か。乳児用紙おむつ代の助成が廃止になったが、赤ちゃんへは補助を続けてもらいたい。

**町長** 乳児用紙おむつ等購入費助成は、こども子育て会議でのご意見などから終了するものである。

今後は、民間2社が共同で実施している、『す

くすくばこ贈呈事業』の紹介をしていく。

より身近で顔の見える支援である母子手帳交付時の相談や新生児訪問、養育訪問を強化充実させる。また、民生委員、児童委員協議会によるこ

んには赤ちゃん事業や、涌谷保育園が実施している涌谷保育園子育て支援センター、子育てサークルののんのん教室、おひさまスマイルなどの民間の子育て支援事業の助けをいただきながら、ソフト事業の展開に重点を置きたいと考えている。

**問** 涌谷町には小児科医院がない。涌谷町国保病院に小児科の設置を。

**センター長** 医師不足でもあり、小

児科医は特に確保が難しい。国保病院の中に小児科として設置するのではなく、子どもを診察することができればと考えている。

## 問 国保病院に小児科の設置を

答

子どもを診察することができる医師を確保していきたい



竹中弘光 議員





杉浦謙一 議員



# 子育て支援として 国民健康保険税の均等割減免を

県の動向を注視しながら、  
適宜判断していきたい

**問** 涌谷町の国民健康保険では、有効期限が1カ月の短期被保険者証が発行されている。このような被保険者証は、県内では35自治体中13自治体で発行されている。1カ月ごとに更新することとは、職員の業務・経費の面では無駄ではないのか。

**町長** 発行に係る考え方は、町の基準に基づき実施しており、短期被保険者証は納期限から1年が経過するまでの間に当該保険税を納付しない世帯主で、納付誓約履行状況に応じて有効期限1カ月、2カ月、4カ月の短期被保険者証を発行している。ただし、18歳以下の被保険者がいる場合は、当該子どもには有効期限6カ月の短期被保険者証を発行している。

**税務課長** 更新には経費がかかるが、税の負担の公平性から考えると、やっとなんてはならないことと考えている。

更新には経費がかかるが、税の負担の公平性から考えると、やっとなんてはならないことと考えている。

**問** 子どもが多ければ、1人あたり2万4000円の均等割が重くのしかかる。仙台市や岩手県宮古市など、子育て支援としての子どもの均等割を減免する自治体が増えているが、当町の考えは。

**町長** 現段階では、均等割に対する減免の実施は考えていない。現在、宮城県では保険料水準の県内統一に向けて検討を行っている。動向を注視しながら、適宜判断していきたい。

## 財政非常事態 今後に改革すべきものは

全事業の洗い出しを始め、  
すべての項目を見直す

**問** 今後に改革すべきものは、どのようなことを考えているのか。

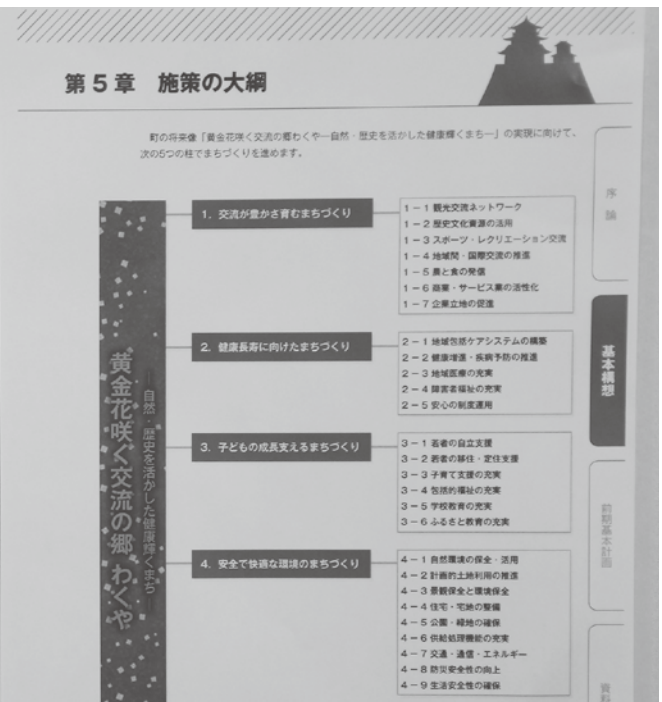
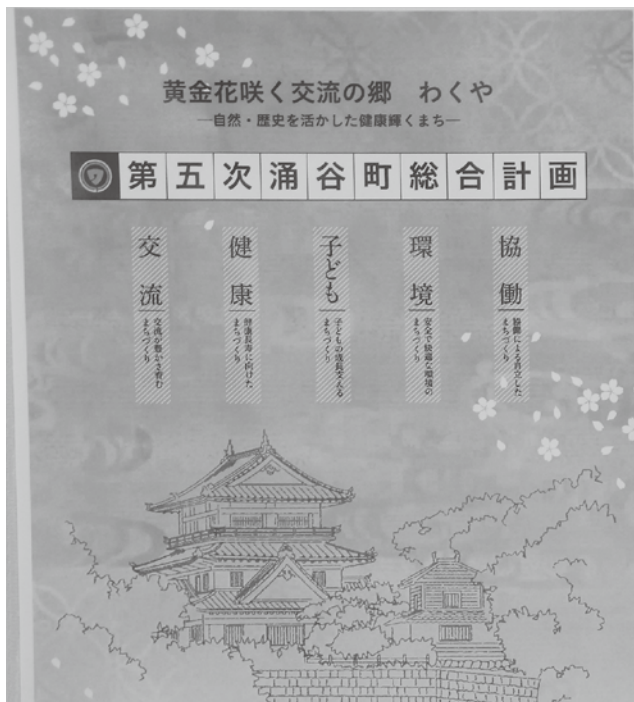
**町長** 国保病院が健全経営であったとしても、町の財政状況は厳しいものとなっている。全事業の洗い出しを始め、めとした、すべての項目において見直しを行い、特色ある町に改革していきたい。

**問** 町債において、交付税措置される割合はどのくらいか。

**企画財政課長** 6割程度と見込んでいる。基準財政需要額に算入される。







第五次涌谷町総合計画の着実な実行で、持続可能なまちへ

**問** 第五次涌谷町総合計画は、住民の意向を反映させ、職員一丸となって今後のまちづくりを計画、策定されたものと思うが、成果はどうだったのか。職員も町長と考えを共有して、着実な実行を推進してきたか。

**町長** 第五次総合計画の中で、「交流が豊かさ育むまちづくり」、「健康長寿に向けたまちづくり」、「子どもの成長支えるまちづくり」、「安全で快適な環境のまちづくり」、「協働による自立したまちづくり」と5つの重点項目を大綱としており、涌谷町の特産物、地域ブランドにおいても力を入れてきた。また、若者と子育てにも力を入れてきた。全体的な底上げといったものはまだ見えていないので、今後課題としながらしっかりと詰めていきたいと考えている。

職員も一生懸命やっていると思う。

**問** 人口減少、高齢化と逆三角形の構図は、地域、各組織が抱えている課題であり、将来を担う世代に対してどのようなまちづくりを考えているか。

**町長** 財政非常事態宣言の目的である、財政基盤の確立を行い、町民の皆様、関係者の方々と一緒になって総合計画を実施していくことが、将来世代の方々のためにもなり町の未来が輝くものになると考えている。

**町長** 持続可能なまちづくりについて、町長の所見は。

**町長** 地域の発展や住民の幸福度を向上させるために必要な経営資源を効果的、効率的に活用することで財政再建を果たし、持続可能な町政運営を確立させ、協働のまちづくりを目指したい。相当な汗をかかなければならないと覚悟している。

**問** 持続可能なまちづくりについて、町長の所見は。

**町長** 地域の発展や住民の幸福度を向上させるために必要な経営資源を効果的、効率的に活用することで財政再建を果たし、持続可能な町政運営を確立させ、協働のまちづくりを目指したい。相当な汗をかかなければならないと覚悟している。

**問**

将来を担う世代に対してどのようなまちづくりを考えているか

**答**

財政基盤の確立を行い、総合計画を実施していく



佐々木みさ子 議員



議会では、本会議開催期間以外にも、各常任委員会や分科会、議会運営委員会で活動を行っています。

3月会議では、総務産業建設・教育厚生・広報広聴の3常任委員会の中間報告が行われました。

## 委員会報告

### 総務産業建設常任委員会

平成30～31年テーマ

「魅力あるまちづくり」  
若者の定住化、安心安全  
のまちづくり

課題・問題

- ① 企業誘致の実現
- ② 水害から町民の命を守る
- ③ 国道346号線の拡張整備について
- ④ 産業振興を図る

調査結果及び意見

① 1社の企業誘致にとどまっている。黄金山工業団地は2社分の敷地が残されており、企業誘致の推進のため、鋭意努力されるよう望むものである。

② 町内の冠水発生箇所と町道の整備状況の現地調査を行い、側溝補修工事、道路改良工事などが計画的に整備されていることを確認した。町民の安心安全な生活のためにも、計画的かつ早急に整備を行うよう望む。

③及び④については31年度に調査を実施する予定。

### 教育厚生常任委員会

平成30～31年テーマ

「住み良いまちづくり」  
地域医療の充実及び学校  
教育の充実

課題・問題

- ① 学力の向上について
- ② 病院改革プランの進行管理について

① 調査結果及び意見

① (小中学生の学習状況及び工夫について)

教育長が替わり、学校への対応も変わるなど、変化の兆しは見える。議会としても側面からの支援は今後も続けていくべきであると考ええる。

(不登校対策について)

速やかに相談や手当てができるようなシステムが構築されているので、今後とも関係機関が連絡を密にして対応されることを望む。

② ここ数年の病院経営は創設期の理念を忘れたような経営のあり方であった。

新しい事業管理者を迎え、改革・改善に取り組み始めたばかりなので、今後の改革・改善に期待する。

### 広報広聴常任委員会

所掌事項の内容

広報広聴常任委員会として年2回議会懇談会を行う。議会広報誌の編集・発行、議員研修、広聴に関する事項については、分科会を設置し活動する。

① 広報分科会

- ・ 議会広報誌の編集及び発行
- ・ 議会広報活動の実施
- ・ 議会広報の調査及び研究

② 広聴分科会

- ・ 広聴活動の実施
- ・ 議会懇談会及び議員研修の準備
- ・ 情報の提供及び広聴に関する事項

活動の結果及び意見

議会広報誌の編集・発行並びに3月会議と9月会議開催後の年2回、各地域において議会懇談会を開催し、議会で議論された内容を説明し、議会活動や町政に対する意見を聴取し、執行部に照会するとともに政策提言を行った。また、議会の活性化及び議員の資質向上を目的に、議員研修会を開催した。今後も、議会懇談会のあり方の検証と議会力の向上のため、継続して研修を行っていく。

## 鈴木英雅副議長・門田善則議員が自治功労者として表彰されました

平成31年2月に、鈴木英雅副議長と門田善則議員が、町村議会議員として15年以上在職し、地方自治の振興発展に尽力されたとして、全国町村議会議長会及び宮城県町村議会議長会から表彰されました。



鈴木 英雅 副議長



門田 善則 議員

## 皆さんの請願・陳情

平成31年陳情第1号  
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める

陳情者

日米地位協定を見直す会  
共同代表

難波 希美子

審査の結果

配布となりました。

平成31年陳情第2号  
宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書採択を求める陳情書

陳情者

ゆきとどいた教育をすすめる宮城県連絡会

太田 直道

審査の結果

配布となりました。

平成31年陳情第3号  
奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

陳情者

一般財団法人  
日本熊森協会会長

室谷 悠子

審査の結果

配布となりました。

## 1月会議

平成31年定例会1月会議が8日に開催され、人事院勧告に基づく給与の改正など議案2件、議発1件、各会計補正予算8件を審議し、原案どおり可決しました。

### 原案可決

議案	議員発議	補正予算
2件	1件	8件

## 4月会議

平成31年定例会4月会議が17日に開催され、遠藤积雄前議長の辞職が許可されました。  
議員による議長選挙の結果、新議長には大泉治議員が就任しました。



大泉 治 新議長

大泉治議員が議長に就任したことに伴い、委員会構成が変更になりました。

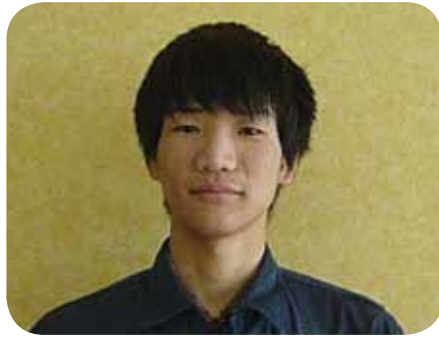
議会運営委員会

委員長 大友 啓一  
副委員長 久 勉  
委員 門田 善則  
杉浦 謙一  
稲葉 定

議会に皆さんのご意見をお寄せください。

# キラキラ Voice

vol.8



遠藤 寛弥さん (脇区)

**Q** あなたのことを教えてください。

**A** みどりの農業協同組合農機センターに勤めています。

自動車学校に通っているときに車に興味を持ち始め、免許取得後は暇さえあれば車を見たりドライブに行ったりしていました。

最近では自分で車をいじったり、ツーリングに参加するようになり、将来的にはイベントへの参加も考えています。

**Q** 議会についてどう思いますか。

**A** 議会については、正直まだわからないことが多いですが、財政非常事態宣言が出たことで、自分も含め町民みんなで湧谷町のために何かできることはないかを考え、協力したいと思っています。

**Q** 湧谷町をどういう町にしたいですか。

**A** 湧谷町は天気の良い日には子どもたちが外で元気に遊べる、自然豊かで安全な町のひとつだと思います。

これからも子どもたちが元気に遊び、地域の人たちが交流でき、いざという時にお互い助け合える町であるためにも、町民みんなが思いやりのある町であってほしいです。

**議会から**

財政非常事態宣言は、我々議員にも大きな驚きでした。町は、宣言を発令したことを契機に、将来を見据えた健全な行政運営を確立するため、財政構造の転換、行政サービスの見直しなどを行うとしています。

湧谷町をいつまでも守り、将来世代に健全な財政を引き継ぐことは、我々の責務です。

議会としても、議員報酬の5%削減をはじめとして、財政改革を進め、行政の健全化により一層努力していきます。

## 議会を傍聴

### しませんか

次回の定例会は

## 6月下旬ごろ

開催予定です

場所は役場西庁舎2階です。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

☎ 43-21127

## お知らせ

例年開催しておりまして5月の議会懇談会については、都合により中止とさせていただきます。

なお、秋(10月)または11月(の)議会懇談会は実施する予定です。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

## 編集者まん

### だより

わくや

いろいろなことがあった「平成」の時代が終わり、新しい「令和」の時代を迎える。

「一人一人が、それぞれの花を大きく咲かせることができる」時代にとのことである。

議会においても一人一人が責任を持ち、行財政が円滑になるよう精進し、新しい時代に対応していきたいものである。

(竹中弘光)

編集 広報広聴常任委員会広報分科会

分科会長 只野 順

副分科会長 竹中 弘光

委員 鈴木 英雅

委員 稲葉 定

委員 佐々木 みさ子

委員 佐々木 敏雄